

NO! 戦争法 日米合同演習の中止を求めて! 9・6あいは野集會に600人が参加!!

好評だった「9・6あいは野大集會」での青年(龍谷大学4回生・藤川 結さん)の発言(大要)です。「ふるさと連」ニュースより

みなさんこんにちは。『しーこぶ。』で活動している藤川結です。

『しーこぶ。』とは、「Shiga (滋賀) / Constitution (憲法) / Peace (平和)」の略ですが、滋賀から憲法、平和を守りたいと言う声を広げていこうと、6月に10代から30代の若者が集まり発足しました。

主な活動として、安保法制に反対するデモや街頭宣伝の企画、また8月からは、ツイッターの『利己的発言』で問題になった滋賀4区選出の国会議員・武藤貴也氏に対する抗議活動などを行ってきました。

メンバーの中にはこれまでデモや集會などに参加したことがなかった人も沢山います。私もその一人です。

しかし、この2ヶ月ほどで声を上げることの大切さを強く感じています。これは安保法案に対することだけではありません。今、私たちの周りには物や情報があふれています。必要な物はいつでも買うことができ、パソコンにワードを打ち込めば、一瞬でたくさんの情報を得ることができます。学校のテストも、あらかじめ用意された答えを書き込めば、いい点数がもらえます。物があふれる社会は確かに便利かも知れませんが、しかし、いつのまにか私たちは当然のように、ただ与えられた物を消費することに慣れ、すべてに対して受け身になっていたように感じます。

そのような社会で、逆に今、非正規雇用が蔓延し、ブラック企業が蔓延し、人を人と思わない、いのちをいのちと思わない、大量消費社会の中で、人も消費物のように扱われる、そんな社会になっていると感じます。その最たる物が、今回の戦争法案ではないでしょうか。

私は物や情報を消費するように、政治や社会も与えられたものを唯受け取るだけの人生を歩みたくありません。

戦争は最大の人権侵害です。そして、戦争は人を物のように扱います。

この活動をしていて、安保法案が入り口になりましたが、沖縄での基地に対する反対行動や、今日の集會もそうです。原発への反対運動もそうです、全部ひとつながりになっているのだということがわかりました。

私は自分の人生を、主体的に生きるために自ら考え行動し、いくら拙たなくても言葉を紡ぎ、誰かに伝えていかななくてはならないと思います。

そして今、若者が全国で声を上げています。今まで私のように声を上げてこなかった人たちも声を上げています。それはすごいことだと思っています。

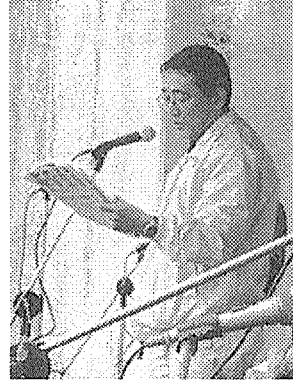
けれど、今日のような活動を戦後ずっと続けてこられた方、今日ここにおられる方、沖縄で活動をずっと続けてこられた方、そういう方々の活動があったからこそ、今の私があると思っています。今まで9条のこと、平和の大切さをずっと訴えていただきありがとうございます。そしてこれからは一緒に声を上げていきましょう!!

戦争法案めぐ
る国会情勢がますます緊迫し、全国でさまざまな抗議の取組みがおこなわれた9月6日、「NO! 戦争法、日米合同演習反対、9・6あいは野大集會」が滋賀県高島市で開催されました。集会にはあいにくの雨にもかかわらず、600名が参加しました。冒頭、「ふ



「戦争法やめろ!!」アピールをおこなう京都の参加者

るさとをアメリカ軍に使わせ
ない滋賀県連絡会」の瀧上
正昭代表から7月16日にお
こった場外民家被弾事件の概
要が紹介され、真相究明、
安全対策があいまいなまま日
米合同演習が強行されようと



挨拶する片岡事務局長

していることに対し、厳しい抗議のアピールがおこなわれ、続いて日本共産党の穀田恵二議員より国会情勢について発言があり、集団的自衛権行使の論拠が次々に崩れ、データメの答弁が続く安倍政権の実態が報告されました。続くリレートークでは「米軍基地いらぬ京都府民の会」の事務局長、片岡明氏(京都

平和委員会 事務局長より、
経ヶ岬のXバンドレーダー配
備後の現地の状況が紹介さ
れ、地元の様々な不安を無視
してすすめられる基地機能強
化の実態が報告されました。
さらに青年組織「しーこぶ」
の代表、藤川結さんから「こ
れまで平和運動の経験を学
び、未来に引き継いでいき
たい」との発言があり、参加者
から大きな共感が寄せられ
ました。続いて関西各地の代
表から活動報告と連帯のあい
さつがあり、集會宣言と「戦
争法やめろ!!」アピール、基
地周辺のパレードがおこな
われました。

「海外で戦争する国づくり」ストップ!
沖縄と連帯し、基地にない憲法の輝く日本を
2015年 日本平和大会IN富士
10/31(土)~11/1(日)
東富士視察学習(三島駅からバスで)もあります。
多数の参加を呼びかけます。 参加費は41,000円

平和の風
▼2015年9月17日、この日のことは忘れまい。
▼国会に向かった仲間から速報が入る。テレビ中継を見ている仲間から速報が入る。▼若者、ママ、学者、弁護士・・・これほどまで多くの人たちが、今決めてはいけ

ないと言った戦争法案が、与党の暴挙で採決されたらしい。▼人を殺しに行くために子どもを生み育てたのではない、とママの会のメンバーが言う。この子たちに幸せな未来を残さなくてはと若い保育士は言う。民主主義とはどういうことか知ってしまったから行動せずにはいられないと高校生は言う。▼これで終わりじゃない、これから日本を作る戦いの始まり。(K)

